



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：矢追家麻呂 ■副会長：藤井正勝 幹事：石野捨雄



8月17日 ガバナー公式訪問

発行日 / 2010年8月29日
 2010-2011 / 08

Vol.32
No. 1520

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2010～11年度
 第2650地区のテーマ

『ロータリーを良く学び、
 変化を知り、
 忘れたことを思い出そう』

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 栗田 幸雄



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

会長報告

8月18日大和郡山ロータリークラブの過去会長大石恒義さんがお亡くなりになりました。当クラブからは私と幹事が告別式に出席いたしました。
 8月21日鷗尾の会会長幹事会が郡山RCのホストで、奈良プラザホテルで行われました。特にこれといった議題はなく、自己紹介やクラブの近況報告を行いました。
 ロータリーリーダー研修会で、熊本ガバナー補佐より「予算がないので出席して頂く費用とお食事で6,000円をクラブでご負担頂きたい」という報告がありました。
 本日臨時理事会を開催し、7月に広島県庄原市が受けた豪雨災害が、激甚災害の指定をされましたので、20万円の義捐金を送ることを承認いたしました。

バナー交換

栗田ガバナー（福井北RC）⇔矢追会長（奈良大宮RC）



例会プログラム

第8回 8月29日
 通算1520回

家族例会
 京都嵐山 鶺鴒見物

例会状況報告

第7回 8月24日
 通算1519回

R.C.は出席から 1519回
 ● 会員数 69名
 ● 出席免除者数 23名
 ● 出席者数 59名
 ● 補填者数 —
 ● 出席率 92.2%

1517回の修正

● 会員数 69名
 ● 出席免除者数 23名
 ● 出席者数 59名
 ● 補填者数 7名
 ● 出席率 95.2%

▼次項へつづく

09-10年度 出席優秀者表彰

◆25年皆出席◆

・楠原忠夫 君

◆HC100%出席◆

・楠木重樹 君 ・楠原忠夫 君 ・多田 廣 君 ・富川 悟 君

◆出席率優秀者◆ (120%以上)

・富川 悟 君 ・潮田悦男 君 ・高野 治 君 ・植村将史 君
・増井義久 君 ・多田 廣 君 ・谷川千代則君 ・矢追家麻呂君
・植倉一正 君 ・大塩栄作 君 ・小西敏文 君 ・高辻良成 君
・藤井正勝 君



委員会報告

親睦活動委員会・宮西委員長

8月29日の嵐山・家族例会の件について連絡します。詳細のスケジュールはお配りしたとおりですが、集合時間は12時30分近鉄奈良駅東側の春日ホテル前で、12時40分に出発いたします。

社会奉仕委員会・橋本委員長

7月の豪雨による広島県庄原市等での大災害について、8月20日に激甚災害に指定され、25日に施行されます。そこで、特別活動費から20万円を、日本赤十字社奈良県支部を通じて被災地に送ります。

森会員

皆様の状差しに、奈良ホテル・平城遷都1,300年祭スペシャルランチ第三弾「玄武」のペア招待券をお配りいたしました。「白虎・青龍」など四神をテーマにしたランチメニューです。「玄武」というのが黒色を象徴としておりますので、「黒」を効かせた内容となっております、8月21日から9月30日迄です。洋食「三笠」、日本食「花菊」どちらもでもご用意しております。裏面に時間等書いてございますので、どうぞお気軽にご予約下さい。お酒は別料金ですので、その分はご自分でお支払下さいませ。

幹事報告

8月29日は移動例会ですので、8月31日の例会は休会です。お間違えのないようよろしくお願いいたします。

栗田 幸雄ガバナーアドレス

みなさんこんばんは。夜間例会に出席させて頂くのは初めてですがこれもなかなか良いもんだなという実感を持ちました。

まず初めに、この奈良大宮ロータリークラブから地区に出向され、大変ご協力頂いています会員増強拡大委員の宮西様、そして財団地区事業員会委員の潮田様、そして米山奨学委員会委員の植倉様に、まずもって、心から厚くお礼申し上げます。

さて、私はガバナーの任に就くにあたり、今年1月米国サンディエゴで行われました国際協議会に出席しました。レイ クリンギンスミス会長の本年度のテーマの発表、日本から出席された黒田理事や田中作治管理委員の講演等がありました。ちなみに、田中作治財団管理委員は、再来年、R Iの会長になれることが内定しています。

今年度のR Iのテーマは、「地域を育み、大陸をつなぐ」です。レイ クリンギンスミス会長の一年間どういったテーマにするかということ、考えに考えたということです。このテーマを選ぶにあたり、ロータリアン、そしてロータリアン以外の人にも訴えることができるテーマにしたい、ということでした。ロータリーは地域の活性化に協力している、奉仕している、という意味では世界中のどの団体にも勝っていることから、この利点を活かして地域の活性化、「地域を育て」いきたい、ということに決定しました。また、「大陸をつなぐ」ということは、ロータリーの親善、親睦を通じて世界中の人々がより働きやすく住みやすい、世界中をそういう場所にしなければならない、こういう思いからこのテーマを選びました。

そしてこのテーマの下に8つの重点事項が発表されました。

1つは「ポリオ・プラス」で、これはロータリーが世界に正に誇ることでできる事業です。今や全世界の99%、ポリオは撲滅されました。残るはインドはじめ4か国のみで、これを0にするまで活動を継続いたします。

2番目が「青少年プログラムの推進」です。これは今年の規定審議会にて第5の奉仕部門として新世代奉仕部門が加わったことにより、その新世代奉仕の一つである「青少年プログラム」を重視していきたい、ということです。

その他の6点は、「世界の平和と紛争の予防解決」「疾病予防と治療」「水と衛生設備」「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「経済と地域社会の発展」です。1番目の「世界の平和と紛争の予防解決」はもちろん重要なことですが、私が特に関心を持ちましたのが3番目の水問題です。過日、日本の第1・第2・第3ゾーンに属する34地区のガバナーが招集され、水問題についてのセミナーに参加いたしました。その中でユニセフの方から世界の水情勢についてお聞きすることができました。ガバナー月信の8月号でそのことについて記しましたが、アフリカをはじめ所謂発展途上国では水を求めるということは大変なことです。毎日、1日分の水を求めて、朝早くから何キロも歩かねばなりません。水不足により、多くの病気も発生いたします。非常に



残念なことに、この病気で5歳の誕生日を迎えることなく死んでいく子供の数が、1日になんと4千人にも上ることです。

日本のように水道の蛇口を捻れば、清潔な美味しい水を得ることができる国では、考えられないことです。私は、この水問題は、全世界を挙げて取り組まなければならない課題ではないかと考えています。レイ クリンギンスミス会長が今年度の重点事項の一つとして水問題を挙げられたということは、正に時宜を得たことではないかと、このように感じています。そして我が2650地区といたしましてもロータリー財団の事業等を通じ、世界の水問題の解決の為に、少しでもお役に立つような事業を展開していきたい、と考えています。

今年度のR Iテーマおよび重点事項を受け、地区といたしましては、「真のロータリアンを目指して～ロータリーを良く学び、変化を知り、忘れたことを思い出そう」というスローガンを掲げました。まず、「ロータリーを良く学び」ということですが、ロータリーはこの105年の歴史の中でいろんな事業を展開し、思想も変化してきました。こういったロータリーについての大義を学んで頂く、ということが真のロータリアンを目指すこととなります。是非ともロータリーについて色々勉強して頂きますようお願いいたします。そして「変化を知る」ですが、ロータリーの歴史の中でもいろんな変化があり、世界的情勢も刻々と変わっています。それらに的確に対応して、ロータリアンとしてどういう活動をするか、について会員お一人お一人に見定めてもらう、ということが必要だろう、と考えます。また「忘れたことを思い出そう」ですが、ロータリー歴の長い人、短い人、それぞれおられますが、ロータリーについて学んだことの中で忘れていないだろうか、ということで、今一度思い出してもらおう。そして、いわばロータリーの原点に立ち返ってこれからの奉仕活動を進めて頂きたい、と考えています。このスローガンの下に私は、今年度の地区の方針として以下6つのことを掲げました。

まず1番目、クラブの自治権の確立です。ロータリーは元々、各クラブが中心で、基本です。クラブを中心とし、積極的に会の運営、そして奉仕活動を展開していくのです。あくまでクラブが中心。地区といたしましてはこれをお手伝いさせて頂く、ということをお願いいたします。今一度この機会にはっきり言及し、クラブの発展に結びつけて頂きたいと考えます。

そして2番目はクラブ研修の充実です。既に研修リーダーを決められていますが、R L Iと申しましてRotary Leadership Instituteの略です。これは1992年にアメリカで提案されたもので、その後18年経ちましたが、日本ではまだ34地区の内4地区が採用しているに過ぎません。2650地区も今年度これを採用することで、日本で5番目の地区になります。このR L Iの研修会は6月に実施され、ディスカッションリーダーということで40数名の皆様方に講習を受けて頂きました。その人たちを中心に、7月25日に各クラブの研修リーダー或いは会長を対象とした第1回セミナーを開催しました。今後、9月5日、12月12日と今年度は3回開催する予定です。このセミナーは講義をするのではなく、ディスカッションリーダーを中心とした6~7人のグループに分かれ、1日かけて6つのテーマをディスカッションいたしました。第1回が終わりましたので、修了証書をお渡ししましたが、第2回、第3回が終わりますと全体の修了証書をお渡しする予定です。また来年の福井で行われます地区大会の時にも研修を予定しています。こういった研修を通じて得たものを、各クラブの研修リーダーが各クラブに持ち帰り、クラブの研修に役立ててもらえることが目的です。研修の充実は、今年度の目玉の一つです。

3番目にロータリー財団です。R Iは、新長期計画の名の下、2010年から3年間、世界で100のパイロット地区の指定を致しました。2650地区もその一つです。ロータリー財団の仕組みが非常に解り難いということで、これを分かり易くし、皆様方に活用して頂くという主旨で、3年間の試行期間が設けられました。2013年度からは全世界一斉にこの制度に移行します。とは申しませんが、ロータリー財団の仕組みは非常にややこしく、会長やロータリー財団委員長には大変ご迷惑をお掛けしていますが、是非ともこれに取り組んで頂きたいと思っております。本年度は、既に3月に財団の申請するようお願いを致しまして、会長の任期の途中に入れ替わって次の会長にご返答頂くということになりました。早く申請を出して頂きましたので、ロータリー財団からの決定も早くされましたし、これを基に7月から新しい事業に取り組むこととなります。来年も同じように進めたいと考えていますので、会長、会長エレクトにおかれましては、財団委員長を早くお決め頂き、来年度はどういう事業をするか、それについてどのように申請するか、ということに早急に取り組んで頂きたいと思っております。ロータリー財団の寄付額は、一人\$160ということをお願いしています。奈良大宮クラブは去年も達成しておられますし、今年もそのような方向で取り組んでおられると伺いました。心から感謝を申し上げ、ご協力いただきたいと思っております。また、財団地区事業基金につきまして、従来お一人2,000円ずつお願いしてきましたが、ロータリー財団の資金をうまく活用すればこれを1,000円に引き下げることができるのではないかと、ということで、今年は1,000円といたしました。それからロータリークレジットカードですが、ゴールドカードとスタンダードカードがあり、ゴールドカードは年会費が10,500円、スタンダードカードの年会費は無料です。ゴールドカードの方はその内3,000円がロータリー財団に、また、どちらのカードでも、ご利用額の0.3%は自動的にロータリー財団に入ってくる仕組みになっています。そういった意味でも是非ともこのロータリーカードに入って頂いて、買い物して頂きたい、と思っています。奈良大宮クラブでは既に22名の方がカードをお持ちだと、会長から伺いました。更に多くの方にお持ち頂きますよう、よろしく願いいたします。

それから、4番目が会員増強です。全世界的に見ますとロータリアンの数は若干減少傾向ですが、アメリカと日本はかなり減ってきています。日本は従来アメリカに次いで会員数の多い国でしたが、残念なことに、最近インドに抜かれまして、今や世界で3位となりました。そしてどのクラブでも、会員増強が大きな問題となっています。先ほどの会長幹事懇談会で、会長が「誰でもいいから入れる、という訳にはいかない」とおっしゃっていました。この言葉で、奈良大宮クラブの会員増強に取り組まれている意気込みを感じることができました。また、このクラブはここ数年間、会員が減少しても、すぐに挽回していると伺い、会員増強は本当にうまく行っているなど実感した次第で、これについても、重ねてお礼を申し上げる次第です。増強の目標として、会員数の8%増をお願いしている次第ですが、とは申しませんが、退会される方がおられますので、少なくとも純増1名、をお願いしています。しかし矢追会長は「今年は3名増を目指していこう」とおっしゃられました。会員増強は会長を中心とされ、会員のお一人お一人が自分の問題として取り組んで頂く必要があります。地区といたしましても、「ロータリーにお入りになりませんか」というパンフレットを用意しておりますので、これを活用して頂い

て、この三か月の間に、或いはこの半年の間にお一人お一人が誰にこのパンフレットを活用して勧誘するか、ということに取り組んで頂きますようお願いいたします。また「ロータリー情報マニュアル」第三版を発刊いたしました。これは今年4月の規定審議会での改正も織り込んだもので、私といたしましては、各クラブ数冊ということではなく、会員の皆様お一人お一人が是非とも購入いただき、ロータリーについてわからないことを辞書代わりにご活用くだされば幸いです。

5番目は、地区の合理化による各クラブの負担の軽減です。昨年度ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所を合同運営する目的で、京都の駅前のビルの一室を借りました。福井と京都とは離れていますので多少の不便はありますが、そこはE-mailを使うなどして、それほど不便もなく合同運営されています。事務所には優秀なスタッフがいまいますし、また、過去の記録も残っています。事務所には会議室もあり、これらをフルに活用することで、合理化が進み、ひいては各クラブの負担の軽減に結びつくと考えていますので、今後も更なる合理化に取り組んでいきたいと考えています。

最後に、クラブに対する地区の指導・支援ですが、具体的には4点あります。1つは出前卓話です。会員増強その他の内容で、必要であれば地区から卓話をさせていただきます。地区のホームページには、出前卓話の内容がのっていますので、是非活用頂きたいと存じます。2番目は各クラブの奉仕プロジェクトに対して、地区としてできるだけのお手伝いをいたします。3番目は講習会、研修会、セミナーの開催です。RLIのような色んな研修会を催しています。各委員会も同様ですが、これらを通じて、正に真のロータリアンとなるために勉強してもらいたいと思います。4番目は情報委員会が纏めた素晴らしいアンケートを参考に、地区としてどのような点に力を入れていくかを検討してまいります。

さて、私は、ガバナーノミニ、ガバナーエレクトの時期に、ロータリーにつきまして色々なことを学びました。その中で一つ感動的なことがございましたので、これを今日は皆様方にご紹介したいと思います。今年4月の国際協議会において、女性のパストガバナーの講演を聴く機会がありました。彼女の地区はアメリカとカナダにまたがっている地区で、しょっちゅう国境を行き来しなければなりません。ある日機嫌の悪い国境警備官に「何処に行くのか」と訊かれたので、「ロータリーの会合」から「ロータリーとは何ぞや」「ロータリーは世界の人々の幸せの為にいろいろな事業を展開し、また奉仕活動をしているんだ」ということをお話ししたところ、その機嫌の悪い国境警備官が、「世の中にはなんと暇な人もいるもんだね」と言ったそうです。彼女は直ちに、「ロータリアンは非常に忙しい。忙しいけれどもその時間を割いて、世界の人たちの為に取り組んでいるんです」と反論しました。これを聞いた国境警備官が涙を流して「ロータリアンの皆様によろしく」と言ったということでございます。私はこの話を聞きまして、ロータリアンとしての誇りと喜びを感じることができました。どうか皆様方もロータリアンであることに、誇りとそして喜びを感じて、いろんな奉仕活動を進めて頂きたいと思います。このパストガバナーの話は、私のガバナー月信の8月号に書いていますので、未だお読みでない方は、是非目を通してくださいますようお願いいたします。

最後に今年4月に規定審議会が開かれました。我が2650地区からは橋本長平パストガバナーが地区代表議員として出席されました。当地区からは3つ提案し、その内2つが採択されました。その概要を簡単にご説明いたします。

採用された1つめは会員の身分の喪失についてです。これまでは4つのテストに照らして、ということでしたが、4つのテスト及びロータリアンとしての倫理基準に照らして、となりました。

もう1つは決議23-34についてです。これはアメリカと日本とでかなり考え方が違っており、アメリカでは空文化しよう、という動きがあるのも事実です。それに対して先手を打って、決議23-34を前向きに検討すべきだ、ということをご提案いたしましたところ、圧倒的多数で認められた次第です。我が地区以外からも、色々提案がありました。採択されたいくつかを簡単にご説明いたしますと、地区に2つまで、E-club (E-mailによるクラブ) が認められました。会員が一堂に会するわけでもありませんので、いろいろ議論もありますが、地区といたしましては、どういう課題があるのかを検証し、前向きにこの問題に取り組むたいと考えています。それから標準ロータリークラブ定款の改正ですが、クラブの役員または理事に、直前会長を加えるということになりました。会長は1年1年替わりますが、長期的なビジョンの下に活動していくという観点から、直前会長がsuggestionを与えるといった意味で、決して院政を認めるということではありません。あくまでもロータリークラブは現会長を中心に進めていくものです。3番目は出席免除の規定ですが、65歳以上の会員、という条件がつけました。65歳以上の会員で且つロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であること、ということになりました。これについては経過措置或いは救済措置がございませんので、現在、出席免除を認められた64歳以下の方は、今年度より認められなくなります。

それから4大奉仕部門が5大奉仕部門になり、新世代奉仕部門が加わりました。もともと新世代奉仕部門は4大奉仕部門に跨って考えられるべきもの、と言われていたわけで、これが明文化されたのです。指導力育成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育むプログラムを通じて青少年並びに若者にとって好ましい変化をもたらされることを認識する、と謳われることとなりました。もう一つ、かの有名な、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という文言ですが、日本語ではこのように訳されていますが、英語では最初「He profits ~」、その後、女性会員もおられるということで「They profit ~」に変わり、今回それが「One profits most who serve best」になりました。日本語としては別に変わりはありません。

さて、奈良大宮クラブに於かれましては矢追会長を中心に、会員の出席率100%に、取り組んでおられます。また今年の平城京遷都1300年祭には、ボランティアとして多くの会員の方々が積極的に活動されました。皆様方のご努力に感謝して、心から敬意を表するものでございます。そして会長が今年のテーマとして掲げておられます「心のこもった奉仕を」に則り、この1年皆様方が積極的に奉仕活動をなされ、奈良大宮クラブが益々反映されますことを心から応援申し上げまして、私のお話を終わらせて頂きたいと思っております。ご清聴どうも有難うございました。

栗田幸雄 様 (ガバナー)
 熊本國勝 様 (ガバナー補佐)
 菅原淳輔 様 (地区幹事長)

矢追家麻呂君 栗田ガバナー大変お忙しいところありがとうございます。ご指導よろしくお願
 いします。熊本ガバナー補佐、菅原地
 区幹事ご苦労様です。

藤井正勝 君 栗田ガバナー、本日お越しいただきあり
 がありがとうございます。勉強させていた
 きます。

石野捨雄 君 R I 2650地区ガバナー栗田様、奈良第1
 グループガバナー補佐熊本様、地区幹
 事菅原様、本日はよろしく御指導下
 さいます様お願い致します。

井上正行 君 栗田幸雄ガバナー様、熊本ガバナー補佐
 様、菅原地区幹事長様、本日は御指導
 お願いします。

橋本和典 君 栗田ガバナーようこそおいで下さいまし
 した。よろしく御指導下さい。今日もし
 っかりロータリーを学びます。

高木伸夫 君 栗田ガバナーのご訪問を感謝して。会長
 幹事、理事、役員の皆様ご苦労様です
 中條章夫 君 栗田幸雄ガバナーようこそ。本日はよろ
 しくお願いいたします。

山本尚永 君 ようこそ栗田ガバナーいらっしやいま
 した。御指導の程、お願い致します。

中井一男 君 栗田ガバナー様ようこそおこし戴きまし
 した。よろしくお願い申し上げます。

谷川千代則君 栗田ガバナーよろしく御指導お願いいた
 します。

松岡弘樹 君 栗田ガバナー ようこそお越し下さいま
 した！！

小西敏文 君 ようこそ栗田ガバナー 本日はよろしく
 お願いします。

潮田悦男 君 ようこそ栗田ガバナー 本日はよろしく
 お願い申し上げます。

山本直明 君 ようこそ 栗田ガバナー
 増井義久 君 ようこそ 栗田ガバナー
 植倉一正 君 栗田ガバナー、ようこそお越し下さいま
 した。

畑中利久 君 ガバナー ようこそ

藤川保雄 君 ようこそ ガバナー

小池恭弘 君 ようこそ

箸尾文雄 君 ようこそ 栗田ガバナー

倉田智史 君 ニコニコに協力

高辻良成 君 ニコニコに協力

富川 悟 君 ニコニコに協力

今崎和民 君 ニコニコに協力

会長幹事会



クラブ協議会



本日のお客様

崔 静仁 (米山奨学生)

